

令和4年第4回鹿追町議会臨時会会議録

1 議事日程第 1号

日時 令和4年11月2日(水曜日) 午前10時00分 開 議

場所 鹿追町議会議場

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 日程 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程 2 | 会期の決定について |
| 日程 3 | 諸般の報告 |
| 日程 4 | 行政報告 |
| 日程 5 議案第 56号 | 令和4年度鹿追町一般会計補正予算(第6号)について |

2 本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

3 出席議員(10人)

1番 清水 浩徳議員	2番 山口 優子議員	3番 畑 久雄議員
4番 台蔵 征一議員	5番 加納 茂議員	6番 上嶋 和志議員
7番 川染 洋議員	8番 狩野 正雄議員	9番 埴渕 賢治議員
10番 安藤 幹夫議員		

4 欠席議員(1人)

11番 吉田 稔議員

5 本会議に説明のため出席したもの

町 長	喜 井 知 己
教育委員会教育長	渡 辺 雅 人

6 町長の委任を受けて説明のため出席したもの

副 町 長	松 本 新 吾
-------	---------

総務課長	葛西浩二
総務課財政担当課長	菊池光浩
会計管理者	富樫靖
企画課長	草野礼行
商工観光課長	松井裕二
保健福祉課長	西垣慎也
子育て支援課長	米澤裕恵

7 議会事務局職員出席者

事務局長	坂井克巳
書記	高瀬俊一

令和4年11月2日（水曜日） 午前10時00分 開議

○議長（安藤幹夫）

ただいまから、令和4年第4回鹿迫町議会臨時会を開催します。

これから本日の会議を開きます。

本臨時会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、説明員は最小限の出席による会議といたします。

ここで御報告いたします。

吉田稔議長から本日の会議を欠席する旨の届け出がありました。

地方自治法第106条第1項の規定により、吉田議長に代わって議長の職務を行います。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程1 会議録署名議員の指名

○議長（安藤幹夫）

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により4番、台蔵征一議員、5番、加納茂議員を指名します。

日程2 会期の決定について

○議長（安藤幹夫）

日程2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤幹夫）

異議なしと認めます。

会期は本日1日間と決定しました。

日程3 諸般の報告

○議長（安藤幹夫）

日程3、諸般の報告を行います。

議長としての報告事項はお手元に配付のとおりです。

内容を御覧の上、御了承願います。

○議長（安藤幹夫）

日程4、行政報告を行います。

喜井知己町長。

○町長（喜井知己）

令和4年第4回鹿追町議会臨時会が開催されるにあたり、行政の諸般について御報告申し上げます。

まず、9月20日ですけれども、帯広市の北の屋台において9月19日から10月1日までの13日間、鹿追チョウザメフェアが開催されるということで、20日に松本新吾副町長と商工観光課の職員でお邪魔させていただきました。

今回は北の屋台20店舗プラス1店舗、合計21店舗で、工夫を凝らした調理方法のチョウザメ料理が35品、期間中提供され、たくさんのお客さんが訪れました。

当日は北の屋台の「アイヌ居酒屋ポンチセ」で「オハウ」という汁物、それと、「チタタプ」日本料理でいうとタタキという料理になりましょうか。この二つをいただいたところでもあります。アイヌ居酒屋ポンチセ様からは、このフェア終了後も店で提供したいということで今も取引が続いているところでもあります。

この北の屋台関連については、フードバレーとかち等のつながりもありまして、今回こういった事業の開催となったところでもあります。

次に、9月23日には、陸上自衛隊駐屯地創立65周年記念式典が外部の人を招いては3年ぶりということで開催されました。

それでも関係機関についても代表者のみで招待者は以前の招待者から大幅に縮小で開催されました。観閲式、観閲行進などは行われましたけれども、訓練展示は今回はなく一般の開放も行われませんでした。

当日はあいにくの天気ですけれども、戦車の体験試乗などは行われたということで、いずれも3年ぶりの開催ということでございました。

次に、9月25日ですけれども、第41回鹿追町ふるさと産業まつり、これも3年ぶりということで、おかげさまでこちらは天候に恵まれまして、来場者は約7,000人で、品物も早く売り切れる状況で大盛況という形になったところでもあります。

次に、9月27日には、吹上はな子さんが令和4年度（2022年度）、100歳を迎えるということで内閣総理大臣からお祝い状と記念品の銀杯が届いたということで、今はもみじの

里に入所されているということで、もみじの里にお邪魔をしてお渡しさせていただきましたところでもあります。

もみじの里では吹上さんは楽しく毎日元気にお過ごしのようにございます。これからもお元気で健やかに過ごしいただけるよう長寿をお祝い申し上げたところでございます。

次に、9月30日から10月10日まで令和4年度（2022年度）の第25次になります鹿追高校カナダ短期留学、9月30日の出発式、それから10月10日の帰ってきたときにも顔を出して挨拶させていただきました。

こちら3年ぶりで、今回2年生45人、それから引率9人ということで若干今回は期間が短かったこともありますけれども、しっかりと現地で日本文化紹介、それからホスト家庭と過ごす短い期間でしたけれども、俵谷俊彦校長先生もおっしゃっていましたが、みんな積極的にホスト家庭とコミュニケーションを取ってカナダの皆さんからも素晴らしい交流が再開できたと大変喜んでいただいたということですし、今回の訪問団の生徒を中心に非常に高い評価をいただいたとお聞きしております。

今回は2年生で派遣を実施したことについて今後どうしていくべきか。いろいろ課題もありますのでしっかりと相談して、令和5年度（2023年度）以降の事業の実施につなげていきたいと思っています。

次に、10月2日は、陸上自衛隊第5旅団の創立18周年、併せて帯広駐屯地創設71周年の記念式典が開催されました。帯広駐屯地の開放等も行われました。

そのときは私、それから議会からは人数的な制約もあったので埴淵賢治基地対策特別委員長、清水浩徳基地対策特別副委員長に御出席いただきました。

式典は一通り観閲式、観閲行進、訓練展示等も行われて、その後、名刺交換会という形で懇談会も開かれ、この日も天候に大変恵まれ有意義な時間を過ごさせていただきました。

次に、10月3日から4日にかけてバイオマス産業都市推進協議会の先進事例視察で、実は2、3年前から計画されていた先進地視察ですけれども、ようやく今回開催できたということで出席して参りました。

バイオマス産業都市については自治体の会員が95、それから賛助会員が63、企業・メーカー等が63、あとオブザーバーとして21、学識経験・国の研究機関等々も含めて全体で約180の会員がおります。今回の先進地視察には40の方が参加いたしました。

京都市の南部クリーンセンターという市内で三つあるうちの一番新しい施設を視察させていただきました。当然ごみ処理はもちろんなのですが、環境学習施設としての視

察受入れ体制がしっかりして、子供たちの視察等にも対応できるような、このときは午後から2時間ちょっとかけて施設を回ったのですけれども、本当にしっかり見るとなると、もう半日、1日くらいはかかる施設でございました。

次の日は、同じく京都府内の南丹市八木バイオエコロジーセンター、南丹市は四つの町が合併したのですが、旧八木町の日本国内でも初めてメタン発酵を始めた施設で現在も動いている施設ですけれども、そこを視察したところであります。

今回の視察で大変参考になる部分もありましたので、本町の環境それからバイオマス等の運営にも生かすことができるのではないかと考えたところであります。

10月7日には、株式会社ヒグマの飛岡抗社長、それからアクアコンサルタントの三宅秀典常務にお越しいただきました。

実は令和3年(2021年)から行なっている地域コミュニティ活性化のためのデジタル化推進に関する連携協定に基づいて出張スマートフォンの講座、「スマホよろず相談」を令和3年(2021年)と令和4年(2022年)と2年間で計12回の講座を開催していただきまして、約170人の方に受講していただいたところであります。

この2年間の講座によりまして高齢者の皆さんのスマートフォンに対する勉強が、それに基づいてスマートフォンを使えるようになることが少しずつ広がっていくのではないかと大変ありがたく思っているところであります。

この2年間の事業に対して感謝の意を込めて感謝状と記念品を贈らせていただいたところであります。

次に10月8日には、第28回目になります馬の絵作品展の表彰式が町民ホールで行われました。

今回の作品の応募状況ですけれども570点、前回よりは70点ほど減っておりますけれども、鹿追町内・北海道内はもちろん、北海道外からも多くの作品が寄せられたところであります。このうち入賞が7人、入選が14人、当日の参加が入賞7人、入選14人の合計21人、全体で入賞が13人、入選が32人ということであります。

最高賞の文部科学大臣賞には、別海町の中学2年生の吉本萌夏さん、鹿追町長賞が苫前町の中学3年生、池田倭さん、それから鹿追町内からの入賞者では北海道新聞帯広支社長賞ということで鹿追中学校3年の本間彩愛さんが受賞されたところでございます。

次に、10月14日ですけれども、第44回サントリー地域文化賞贈呈式記念パーティーが大阪市で開催されました。私は他の公務で出席できなかつたので、松本新吾副町長としか

りべつ湖コタン副実行委員長であるホテル風水の井上貴生さん、それから松井裕二商工観光課長が参加したところであります。

しかりべつ湖コタンがサントリー地域文化賞をいただいたのは令和3年（2021年）でありましたけれども、例年は大阪で表彰式を開催しているのがここ3年間できなかつたということで42回、令和3年（2021年）の43回、それから令和4年（2022年）の44回の3年間で計16団体の贈呈式であったということでございます。

次に、10月16日には、北部方面隊創隊70周年記念式典・記念会食が陸上自衛隊真駒内駐屯地で開催されました。私とそれから鹿追町自衛隊協力会相澤政則会長の2人で出席してきたところであります。

こちらはほぼ全般的な行事が行われました。この日もおかげさまで天候に恵まれたということでございました。

次は、10月17日、北十勝4町の町長議長意見交換会が士幌町で開催されました。

4町持ち回りで毎年開催しているところで、令和3年（2021年）は士幌町でしたけれどもいろんな事情があつて開催できなかつたということで、令和4年（2022年）開催したところであります。

4町の町長・議長、安藤副議長と一緒に出席させていただきまして十勝総合振興局からは芳賀是則局長、それから相内宣人地域創生部長の出席があつたところであります。

懇談の内容としては各町における物価高騰対策、これまで実施してきたもの今後の予定も含めて意見交換がなされました。

懇談会につきましては、道の駅ピア21しほろの「にじいろ食堂」で、イタリア料理のコースでしたけれども、それぞれ4町の食材をふんだんに使った料理ということで懇談会が実施されたところであります。

最後ですけれども、10月18日から19日にかけて国営かんがい排水事業、笹川地区の中央要請を行なつてまいりました。私とJA鹿追町木幡浩喜代表理事組合長、それから国営土地改良事業 笹川地区促進期成会長の北真一さん、それと事務局2人で行つてまいりました。

18日には国土交通省の北海道局、それから衆議院の第1・第2議員会館、参議院議員会館、地元それから土地改良等々に関係する国会議員のところ、19日にも衆議院の議員会館それから農林水産省、財務省にもお邪魔させていただきました。農林水産省では野中厚副大臣、それから財務省では宮本周司政務官にもお会いすることができました。

笹川地区については、令和5年(2023年)の着工を目指して今の概算要求にきちんと上げられております。年末の政府案決定に向けての最終的の念押しという形でしっかりお願いをしてきたところであります。予断は許しませんけれども、政府案に位置づけていただけるものということで期待しているところであります。政府案になった場合には令和5年度(2023年度)についてはおそらく測量、設計が中心になるのだらうと思っておりますけれども、それが終わるとようやく待望の事業着手が見えてきたところでございます。

以上申し上げまして、行政報告といたします。

ありがとうございました。

○議長(安藤幹夫)

これから行政報告に関する質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番、山口優子議員。

○2番(山口優子)

この行政報告の中では10月25日の国土交通省の方が来庁されたということが該当するのかなとちょっと分からないのですけれども、10月18日に北海道拓殖バスの事故がありました。その事故のことについて町民の方々に御説明できる範囲で構わないので、御説明をお願いします。

○議長(安藤幹夫)

喜井知己町長。

○町長(喜井知己)

10月25日の国土交通省から浪越祐介室長がお見えになっている件は、今回の北海道拓殖バスの事故とは関係がないというか別件でお越しになられたようです。

私このときいなくてお話は何っていませんが、今回の事故とは別件でございます。

先般の北海道拓殖バスの事故につきましては、この間もお話はさせていただきましたけれども、運転士の通常の体調は特に問題はない方だったとお伺いしていたところでございますけれども、上然別西6線のところを過ぎて坂を上がってちょっとしてから一時的に意識を失う状況になったということでございます。

運転士はそのときの記憶がちょっと飛んでいるというような表現をされていたということでございます。

北海道拓殖バス中木基博社長と小森明仁業務部長が私のところに来て、そのときの状況

の説明それと併せて、今後の公共交通ということでお客さんの大切な命を預かって運行しているということで、今回の事故については大変申し訳ないという謝罪の言葉と、今後このような事故がまた起きては大変なことになりますので、職員の健康管理、運行上のことも含めてさらに安全運転それから体調管理を徹底するとともに、一定の区間距離で1回バスを止めて車から降りてタイヤの点検をすると少し一息入れるということも改善策の一つではないかというお話もされておりました。

おそらく国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局にもしっかりとした今後の改善策も説明が求められていると私は思っておりますので、今後本当に一層気を引き締めて安全な運行管理をお願いしたいということでお話をさせていただいたところでございます。

○議長（安藤幹夫）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤幹夫）

質疑なしと認めます。

これで行政報告を終わります。

日程5 議案第56号 令和4年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）について

○議長（安藤幹夫）

日程5、議案第56号、令和4年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）についてを議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第56号は、令和4年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）となるものです。

令和4年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによらして、第1条は、歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出にそれぞれ5,929万3,000円を追加して、総額を74億8,556万1,000円とするものであります。

補正予算の内容につきまして、歳出、8ページより御説明いたします。

総務費、総務管理費、新型コロナ緊急経済対策事業費で、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援、住民税非課税等の支援及び商工会年末謝恩大売出し事業の助成のため、報酬で58万4,000円、職員手当等で18万7,000円、共済費で8万6,000円、報償費で2,596

万円、需用費合計で 93 万 1,000 円、役務費で合計 183 万 8,000 円、委託料で 5 万 5,000 円、使用料及び賃借料で 26 万 4,000 円、負担金補助及び交付金で合計 2,938 万 8,000 円のそれぞれ追加であります。

次に、歳入、7 ページから御説明いたします。

国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金の総務管理費補助金で合計 5,524 万 9,000 円の追加。

款項目、繰越金の前年度繰越金で 404 万 4,000 円の追加であります。

以上、令和 4 年度鹿追町一般会計補正予算（第 6 号）について御説明申し上げました。

御審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（安藤幹夫）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤幹夫）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（安藤幹夫）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第 56 号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手 9 人

○議長（安藤幹夫）

挙手多数であります。

本案は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで閉会します。

閉会 10 時 31 分